



立憲民主議員団

酒井 たくや

未来への投資・公教育の充実

耐用年数が経過している普通教室のエアコン更新と、新たに体育館への導入を進めるべきではないか。

答 検討していく。

校庭維持管理において、10年間でメンテナンス等を実施していない学校はあるか。

答 小学校が9校、中学校が6校ある。

定期的なメンテナンスを考えていくべきではないか。

答 調査を行い、検討する。

中野区の10年間の教育費の割合の平均は10・27%であり、23区中21位である。教育費の枠組みを抜本的に変えることが子育て先進区へとつな

がる。平成22年から校割予算が減少している理由は。

答 リーマンショック以降の

税収の減少による影響である。

答 税収は回復している。来年度予算で校割予算については、どう対応するのか。

答 予算の確保に努めていく。

魅力ある公園整備

公園維持管理費の状況は。

答 公園増加に伴い維持管理費も増加している。

答 契約の状況は。

答 業種別に、50件ある。

他区では、指定管理者制度を導入し、一括管理によるスケールメリットを生かし、経費を削減しながらサービスを向上させている。見解は。

区議会だよりへのご意見、ご要望などは、区議会事務局まで

〒164-8501 中野区中野4-8-1
電話 03-3228-5585
FAX 03-3228-5693
Eメール kugikaijimu@city.tokyo-nakano.lg.jp



自由民主党議員団

高橋 ちえき

中野区人事構想

最も課題であることは。

答 職員の基本となるスキル、専門的な知識、経験の継承等若手職員の育成が課題である。

答 障害者雇用について見受けられないが、どう考えるか。

答 法定雇用率達成のため、引き続き計画的に採用を行う。

地域包括ケアシステム

区を目指す姿とは。

答 見守り支えあい活動で支援が必要な人が把握され、本人の意思が尊重され、権利が守られ、皆で介護予防に取り組む健康寿命を延ばし、在宅でも安心して医療を受けられるまちである。

地区担当アウトリーチの活動が十分理解されていないのではないか。

答 今後も周知を行っていく。

答 実現・充実していくには、区民、関係団体が理解を深め、行政と共に取り組もうと思うように導くことが大切では。

答 区民や関係団体等との信頼関係に基づく強力かつ緊密な連携協力体制が不可欠であると考える、今後も十分な周知や説明、意見聴取に努める。

防災対策

地域総合防災訓練において、地域と保幼小中の児童・生徒及び、関係者が連携できる訓練をしてはどうか。

答 各年代の顔が見え連携が



とれる訓練となるよう、内容や実施方法を精査している。

答 防災と危機管理が別の分野にある。早急に組織体制を変えるべきではないか。

答 全庁的な見直し、検討を行い、分かりやすく効率的、効果的な組織を構築したい。

議会と行政の関係

区政をより一層前進させるには、議会と行政が力を合わせる事が最も大切では。

答 区議会の協力が不可欠であり、適時適切な情報提供と情報交換を行いたい。



都民ファースト・無所属の会

渡辺 たけし

平成29年度決算

区役所の建て替えなど大きな費用負担となる場合、建て替えた翌年から基金を積み立てることが健全な財政運営につながるのではないか。

答 施設用途等が変更することもあるため、現時点では考えていない。

基金は特定目的基金を中心に積み立ててはどうか。

答 今後の財政需要の予測に基づき、財政調整基金及び各特定目的基金に積み立てる。

地域包括ケア

区が所有している個人情報報を分析することで、引きこもりの方などを見つけていくことが可能ではないか。

答 要支援者の発見は、分析を重ねて、情報を突合することで絞り込める可能性はある。

民間事業者がやりやすい環境を整えることが本来のアウトリーチチームだと考えているが、民間事業者のサポートに徹する考え方を示しては。

答 地域ケア会議の協議を踏まえて、支援を図りたい。社会福祉協議会が区の情報

報を共有することで、素早い行動が可能になるのでは。

答 法令等の規定に基づき、適切に対応したい。

区は民間への支援を積極的にいう意思はあるか。

答 今後も積極的に進める。

例えばマッサージ等の民間サービスを高齢者向け保険外サービスとして展開しては。

答 調査研究を重ねる。

犯罪機会論

学校の先生を対象とした犯罪機会論の研修をしては。

答 子どもが危機を察知する能力をはぐくむ指導を学ぶ機会をつくる。

まちづくり犯罪機会論の概念を取り入れてはどうか。

安全・安心なまちづくりを進めることは重要である。

これからつくる区内公園に犯罪機会論を取り入れては。

答 考え方を研究し、取り入れられるものは取り入れたい。

保育園の見学予約システム

翌月の見学可能日などをホームページで公開しては。

答 体制整備を含め検討する。

区役所・サンプラザ地区再整備の事業協力者

方針見直し決定した今、関係を一旦リセットしては。

答 協定の解除項目のような状況ではないと認識している。



公明党議員団

日野 たかし

(仮称)弥生町六丁目公園整備

子どもたちが元気に遊ぶ公園は魅力的に見える。事業者募集に当たっては、子どもたちが自由に思いきり遊べる公園を考えてはどうか。

答 指定管理者から自然体験事業等の提案を受けることになつており、これまで指摘を受けた点も踏まえ、区から提案していきたい。

災害対策

災害ボランティアの受け入れについて、大規模災害の

場合、近県から車で来ることも想定し、車の受け入れを検討してはどうか。

中野区ボランティアセンターを運営する中野区社会福祉協議会に必要性を確認し、今後の方向性を検討したい。

数日間ボランティア活動をする方のために、宿泊・休憩場所を確保してはどうか。

不公平感が生じないように、社協と協議していきたい。

避難行動要支援者が必要な備蓄品等について、障害者団体等と十分な協議を行っていくべきではないか。

要望書が提出されていることから、誰もが過ごしやすい避難所を検討していきたい。

児童・生徒の安全対策

過去に安全対策や防犯対策で設置したものについて、どう維持管理をしていくのか。

答 保守点検や通学路合同点検の活用など、適切な方法を検討していきたい。

屋外にプールがある区立学校には、日よけを整備すべきではないか。

答 プールサイドの日よけは現時点では考えていないが、熱中症対策については、パラスールの利用等、ソフト面での対応を含めながら検討したい。

区内の小中学校の校庭等に

にミストシャワーを設置してはどうか。

答 他自治体での導入事例等を参考にしながら、今後検証していきたい。

がん対策

胃がんハイリスク診査について、受診率向上のために、未受診者40歳以上の全ての対象者に対して、毎年受診券を送付してはどうか。

答 受診者数の推移を見ながら、受診率向上や胃がんハイリスク診査の評価につながる方策を研究していきたい。



西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟 決起大会

8月28日に、野方区民ホールで、西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟決起大会が行われました。いよいよ良輔議長が出席し、区議会代表として挨拶を行いました。

西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟の決起大会